



海鮮丼のほかにさまざまな弁当を取り揃えています。お早めにお買い求めください。

萬屋あきたにかほ
観光拠点センターにかほと内
(にかほ市象潟町字大塩越 36-1)
時 間：10:00～16:00
※土日、祝日は9:00から営業
定休日：第3水曜日
問合先：☎74-8141



応募方法 ハガキ、FAX、QR (申し込みフォーム)
記入事項 発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、『広報にかほ』への意見・感想等を記入
応募期限 8月25日(水)
応募先 〒018-0192
にかほ市象潟町字浜ノ田1
にかほ市役所
「広報にかほプレゼント係」
FAX 0184-62-9013 QRコード
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



鳥海山・飛島ジオパーク



鳥海山・飛島ジオパークはイヌワシが生息しています。見たことはありますか？人里離れた山奥に生息する印象があるイヌワシですが、実は人の営みと共存した生き物という一面もあります。イヌワシが生きていくにはノウサギ、ヤマドリ、ヘビなどを狩ることの出来る森林や草原が必要ですが、どんな森林や草原でも良いという訳ではありません。一見青々としていても管理が行き届かず鬱閉した人工林の場合、翼を広げた長さが2m近くもあるイヌワシは狩りが出来ません。草原も放棄されて灌木が地面を覆うようになると狩りには向かなくなります。実は、イヌワシの狩り場創出という面において、「林業」や「草原管理」は大切な役割を担っているのです。

鳥海山・飛島ジオパークはイヌワシが生息しています。見たことはありますか？人里離れた山奥に生息する印象があるイヌワシですが、実は人の営みと共存した生き物という一面もあります。イヌワシが生きていくにはノウサギ、ヤマドリ、ヘビなどを狩ることの出来る森林や草原が必要ですが、どんな森林や草原でも良いという訳ではありません。一見青々としていても管理が行き届かず鬱閉した人工林の場合、翼を広げた長さが2m近くもあるイヌワシは狩りが出来ません。草原も放棄されて灌木が地面を覆うようになると狩りには向かなくなります。実は、イヌワシの狩り場創出という面において、「林業」や「草原管理」は大切な役割を担っているのです。

第20回 萬屋あきたにかほ

毎度ご愛顧ありがとうございます。20回目のにかほ本舗は、昨年12月に開業し、にかほとに店舗を構える萬屋あきたにかほさんをご紹介します。にかほの食材を県外のお客さまに知ってもらいたい、また市民の皆さまにも地元産の良さを再確認してほしい。その想いで地元産の米・野菜・鮮魚を使った海鮮丼や独自加工している地魚の冷凍鮮魚などオリジナルブランドを販売しています。

日頃から、近所で働く方など日替わり弁当を楽しみに毎日来店してくれたり、市外からも馴染みのリピーターが増えてきていて、老若男女問わず多くの方が来店しています。

千客万来 にかほ本舗

広報で伝える市内店舗の魅力、商工会加盟店の紹介と人気商品の読者プレゼントコーナー

代表の金子伸吾さんは「さまざまなお客さまが訪れるのが道の駅。その地域性と利便性を活かして、地元にかほの美味しくて誇れる食材を全国に発信していくことを目標に頑張っています」と語ってくれました。



※実際の商品はこちらです。

鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol.80

『自然の恵みを活かした地域活性化』

令和2年、環境省では、林業や草原管理などの地域産業が活性化することでイヌワシの狩り場創出につながった事例を集めた「自然の恵みを生かした持続可能な地域活性化事例集」を作成しました。http://tohoku.env.go.jp/wildlife/index.html

この事例集を眺めていると、ジオパークの取り組みとの連続性を感じます。「自然の恵みを生かす」「持続可能」「地域活性化」。人と自然の関わりを考える中で見えてくる、共通のテーマなのかなと思います。

自然の恵みを生かした持続可能な地域活性化事例集



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン情報

2020年9月にリベリア共和国大使館とホストタウンパートナーシップ協定を締結し、10月にリベリア共和国のホストタウンに登録されました。リベリアの選手や国民の応援・交流を通じ、SDGsについてできることを考え行動しましょう。

問 スポーツ振興課 ☎ 33-8855

リベリア共和国オリンピック選手団とのオンライン交流会 ▶8月5日(木) 10:00～11:00 ▶多目的屋内運動場
※どなたでも観覧できます。申し込み不要ですが、緊急事態宣言地域からの移動で2週間経過していない方や体調不良の方は遠慮ください。

手作りおみやげを選手団に贈呈

11人の市民の方々やゆり支援学校の生徒から寄せられた手作りおみやげを、選手村にいる選手団20人へ届けます。布ぞうり、ミニ着物、風呂敷、和柄の巾着、ちりめんや着物で作ったうぐいすなど気持ちのこもった作品がおみやげとして寄せられました。

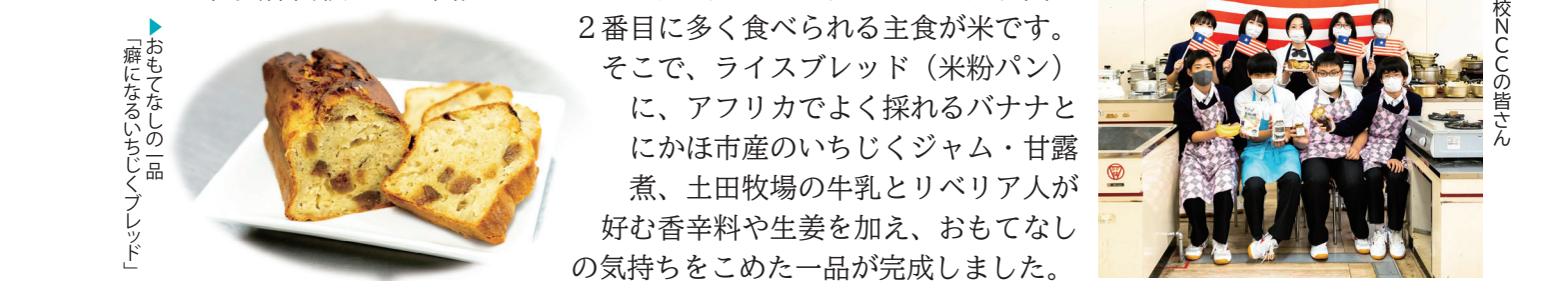
※パラリンピック選手団に贈るおみやげを追加で募集中です。締め切る場合がありますので、事前に連絡のうえ、8月10日(火)までスポーツ振興課へ持参ください。



おもてなしスイーツ完成!

全国のホストタウンで進めた「世界のおもてなし料理」プロジェクトに参加した仁賀保高校NCC開発のスイーツが完成しました。リベリア共和国で2番目に多く食べられる主食が米です。そこで、ライスペッド(米粉パン)に、アフリカでよく採れるバナナとにかほ市産のいちじくジャム・甘露煮、土田牧場の牛乳とリベリア人が好む香辛料や生姜を加え、おもてなしの気持ちをこめた一品が完成しました。

絵本プロジェクト5作品が決定!



リベリア共和国とにかほ市の子どもたちで作る絵本の絵が決まりました。

- ①風景 柴田 琉生さん (金浦中3年)
- ②伝統芸能 熊谷 心菜さん (金浦中1年)
- ③スポーツ 須田 月悠希さん (金浦中3年)
- ④伝統芸能 佐々木 宇宙さん (金浦中3年)
- ⑤風景 向後 美衣奈さん (象潟小4年)

〔審査員〕 ホストタウンサポーター、市内読み聞かせの会代表、図書館協議会会長
東京2020大会ホストタウンパートナーシップ協定 2020 TOKYO GAMES HOST TOWN PARTNERSHIP AGREEMENT